

オリエントナノ便り

お客様各位

拝啓 盛夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

前回のナノ便りで書きました「ツマグロヒョウモン」の幼虫たちは、7匹の内5匹が蛹になり、やがてオレンジと黄色の羽を広げながら美しい蝶になって飛び立って行きました。

その中の1匹が、ある夕方羽化しようとしていたのですが、中々蛹から抜けきらずもがいていました。

自然界の在り様に人間が手を出してはいけないと思い、その日は帰宅したのですが、翌朝見ると片方の羽が開ききらず胴体の一部に蟻がたかっていた。

それでも羽を震わせながら生きようとしている姿がそこにあり、何とも言えない気持ちになりました。(蟻をはらってから糖蜜を上げたのですが間もなく死んでしまいました。)

最後の最後まで生きようとする命って凄いなあと心から感じた経験でした。

私の好きな作家(翻訳家)に村岡花子さんがいます。彼女は私の通った小学校(東洋英和女学院)の大先輩でもあります。

彼女が翻訳したモンゴメリ作「アン青春」に

「けっきょく、一番、幸福な日というのは、すばらしいことや、驚くようなこと、胸の沸き立つような出来事が起こる日ではなくて、真珠が一つずつ、そっと糸からすべりおちるように、単純な、小さな喜びを次々にもってくる一日一日のことだと思わ」と言う一説があります。

本当に日々のちょっとしたこと

にこそ感動があるのだと思います。

こうして元気に生きられている事も奇跡ですね!

これからいよいよ夏本番です。くれぐれもお体ご自愛下さいますように!
同行営業等のご要望がございましたら、いつでもお申し付け下さい。

何卒今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成28年7月31日

代表取締役 花輪麻美

